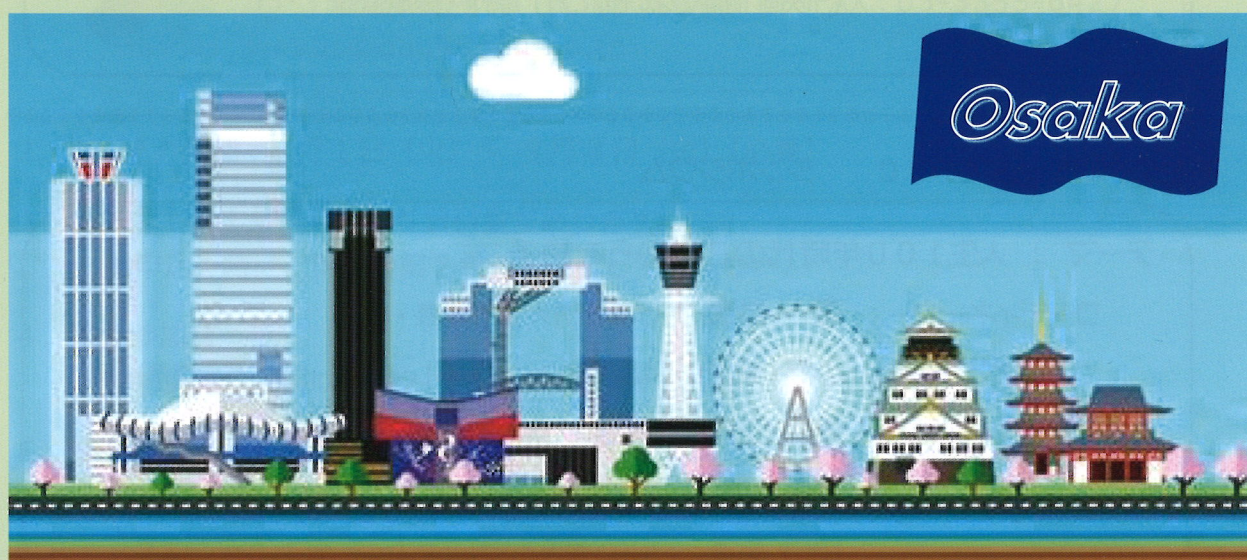


第42回高齢社会をよくする女性の会 全国大会 in 大阪

**みんなで話そ！**  
**人生100年時代**  
**地域で‘生’を全うするために**



2023年 **10月21日(土)・22日(日)**

会場：**大阪経済大学 大隅キャンパス A館・D館**  
大阪市東淀川区大隅2丁目2-8

参加費：**2,000円(2日間共通)**

主催 NPO 法人高齢社会をよくする女性の会  
高齢社会をよくする女性の会 全国大会 in 大阪 実行委員会

後援 (社福) 大阪府社会福祉協議会  
(一財) 大阪府男女共同参画推進財団  
(公社) 大阪府看護協会  
(公社) 大阪介護支援専門員協会  
NHK 大阪放送局 朝日新聞社

(社福) 大阪市社会福祉協議会  
(一財) 大阪男女いきいき財団  
(公社) 大阪社会福祉士会  
(公社) 大阪介護老人保健施設協会  
毎日新聞社 読売新聞社

## 大会スケジュール

第1日目 10月21日(土) 会場：大阪経済大学A館(フレアホール)

▶12:00～ 受付

▶13:00～13:30 オープニングアトラクション・開会式

\*\*\*\*\*

▶13:30～15:15 基調講演

テーマ：人生100年時代の医療・介護とは  
～地域医療を28年実践してきた医師から次世代に向けての提言～

講師：長尾 和宏 (医学博士・(公財)日本尊厳死協会副理事長)  
(映画「痛くない死に方」原作・医療監修)



\*\*\*\*\*

▶15:15～17:00 シンポジウム

テーマ：人生100年時代のこれからの語る

コーディネーター：森 詩恵 (大阪経済大学 副学長・教授)

シンポジスト：小島 美里 (認定NPO法人暮らしネット・えん 代表理事)

津止 正敏 (立命館大学特任教授)

厚生労働省 老健局長 (調整中)

樋口 恵子 (NPO法人高齢社会をよくする女性の会 理事長)

\*\*\*\*\*

▶18:30～20:00 交流会 会場：大阪ガーデンパレス

\*\*\*\*\*

## ごあいさつ

第42回高齢社会をよくする女性の会全国大会 in 大阪 実行委員長 植本 眞砂子

全国大会は、今年で42回目です。この間、高齢社会における「介護の社会化」と「ジェンダー平等」の視点から、地域に根差したまちづくり政策を提言していく運動が連綿と引き継がれてきました。次世代にどう活動をつないでいくのが当面の大きな課題です。

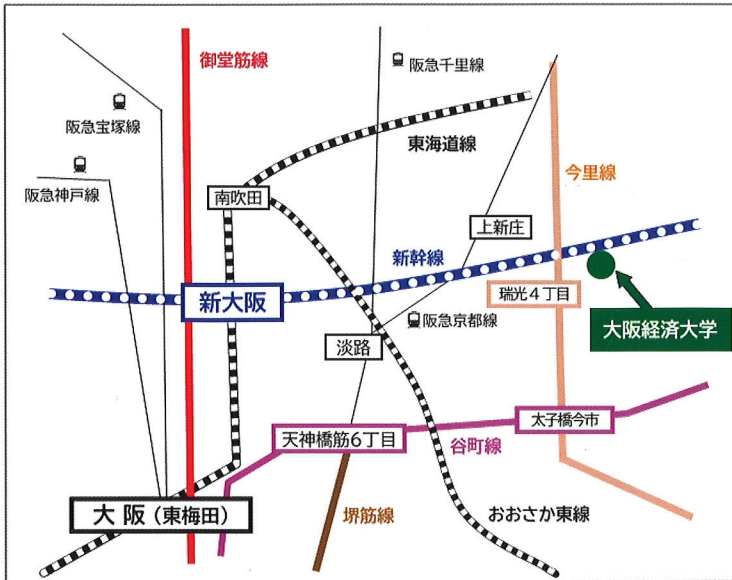
3年を超える新型コロナウイルスによるパンデミック(世界的規模での流行)は、これまでの医療・介護体制が、現場の頑張りで支えられていたことを浮き彫りにしました。少子化・晩婚化・晩産化が進み、医療・介護の担い手不足は待たなしの状況です。特に、女性に多い非正規労働者の増大などに加え、高齢女性・単身世帯の増加など世帯構成も変化しています。

必要とされているところに社会的なケアの手が十分に届き、医療と介護の連携により「地域で安心して『生』が全うできる社会」を創り上げていくための明日を語り合いましょう！是非ご参加ください。

第1分科会	<p>「介護の現状と介護保険のこれから」</p> <p>介護保険制度施行から23年、当初に掲げられた「高齢者の自立支援」が様変わりしている。高齢単身世帯の増加状況にもかかわらず、家族支援が前提という制度の歯齧りを含め、改めて介護の現状を振り返り、介護保険の今後を展望する。</p> <p>コーディネーター：石田 路子 (名古屋学芸大学看護学部 客員教授、NPO 法人高齢社会をよくする女性の会 理事)</p> <p>問題提起：小島 美里 (認定NPO 法人暮らしネット・えん 代表理事)</p> <p>報告：長福 洋子 (NPO 法人エフエー 理事長)</p> <p>報告：瀬能 邦子 (高齢社会をよくする女性の会・大阪)</p>
第2分科会	<p>「地域で支え合おう — 私たちが望む地域包括ケア」</p> <p>福祉社会学・社会福祉学の研究者、孤独や生きづらさに社会的処方される医師、地域とともに支える力を高めるNPO 法人代表者のお三方とともにケアとまちづくりについて考える。</p> <p>コメンテーター：袖井 孝子 (NPO 法人高齢社会をよくする女性の会 副理事長)</p> <p>講師：竹端 寛 (兵庫県立大学環境人間学部 准教授)</p> <p>講師：守本 陽一 (一般社団法人ケアと暮らしの編集社/兵庫県豊岡保健所 総合診療医)</p> <p>講師：内海 正子 (NPO 法人はなのいえ 理事長)</p>
第3分科会	<p>「自分の生き方、逝き方は自分で決める」</p> <p>自分らしい最期を迎えるために必要な「心構え」を持ち、後に残す人にその思いをどのように伝えるか？在宅、ホームホスピスなど「どこで・どのように」人生を終えたいか、自分も残される者もともに後悔しない「人生の最期」への向き合い方を考える。</p> <p>コーディネーター：沖藤 典子 (NPO 法人高齢社会をよくする女性の会 副理事長・作家)</p> <p>問題提起：関本 雅子 (在宅診療医 かえでホームケアクリニック 顧問)</p> <p>報告：松澤 ミサホ (特定NPO 法人風の葉 代表・社会福祉士)</p> <p>報告：上杉 和美 (みんとケアプランセンター)</p>
第4分科会	<p>「介護する人・介護される人の尊厳を」</p> <p>一般的に、介護を受ける人の気持ちを理解することはたやすいことではない。介護を受ける人の心の世界を理解し、介護をする人の生きがいと介護現場での物心両面の厳しさを理解することで、両者の「尊厳」について考える。</p> <p>コーディネーター：植本 眞砂子 (高齢社会をよくする女性の会・大阪 代表)</p> <p>問題提起：渡辺 俊之 (精神科医 渡辺医院/高崎西口精神療養研修室 院長)</p> <p>報告：藤原 るか (介護福祉士 NPO グレース・ケア 登録ヘルパー)</p> <p>報告：西村 早苗 (在宅介護経験者)</p>
第5分科会	<p>「排せつケアが暮らしを変える — 失禁は誰にでも起こり得る」</p> <p>介護で最も大変と言われるのが排せへのケア。元気なうちから排せケアや排せケア用品について適切な知識を持っていることで、その後の暮らしは大きく変わる。なぜなら排せは食事にも服用薬にも身体機能にも左右されることだから。そのための知識、用具、衣服の工夫などを考える。</p> <p>講師：浜田 きよ子 (排せ用具の情報館「むつき庵」 所長、高齢生活研究所長)</p> <p>講師：熊井 利将 (「むつき庵」 副所長、和歌山排せケア研究会世話人、ケアマネージャー)</p> <p>&lt;展示&gt; 講義の後、展示の紹介や質問にお答えします。</p>

## 会場案内

◆全体会・分科会：大阪経済大学 大隅キャンパス A 館(フレアホール)・D 館



### <アクセス>

- ◆大阪駅より
  - ・大阪メトロ 谷町線 東梅田 (太子橋今市乗換) 今里筋線 瑞光4丁目駅下車 徒歩2分
  - ・阪急京都線 上新庄駅下車 徒歩15分 大阪シティバス50系統 井高野車庫前行 10分 「大経大前」下車
  - ・大阪シティバス大阪駅前 37系統/93系統 井高野車庫前行 40分 「大経大前」下車
- ◆新大阪駅より
  - タクシー 約6km

◆交流会：大阪ガーデンパレス (最寄り駅：新大阪) ※大会会場から、現地まで貸し切りバスをご用意します。

## 申込案内

- ・大会の参加申し込みは、WEB 対応となります。〔パソコン・スマホ (QR コード) 〕
- ・申し込み期間： 8月1日 (火) ~ 9月8日 (金) **必着**
- ・申し込みの詳細は、「申し込み案内」をご覧ください。
- ・WEB 申し込みができない方は、東京事務局にお問い合わせください。



「NPO 高齢社会をよくする女性の会」事務局

電話：03-3356-3564 (月・水・金のみ対応可) FAX：03-3355-6427

mail：wabas@eagle.ocn.ne.jp

※ホテルの斡旋、紹介はいたしませんので、各自でお手配願います。

## 施設見学 (大阪市内)

閉会式後、市内の施設見学3コース、計35名をご用意しております。

大会参加申し込みの方に後日、参加証と共に申込方法・費用・支払い方法などの詳細をご案内いたします。

- Aコース (15名) 介護付き有料老人ホーム「れんげハイツ井高野」 → 「井高野よってっ亭」
- Bコース (10名) NPO フェリスモンテ → ホームホスピス「風の栞 高殿」
- Cコース (10名) ホームホスピス「風の栞 高殿」 → NPO フェリスモンテ

## お問い合わせ先

- 「高齢社会をよくする女性の会 全国大会 in 大阪 実行委員会」事務局

電話：06-6762-0550 (月・水・金のみ対応可)

mail：wabas-osaka@mbm.nifty.com

- 「NPO 高齢社会をよくする女性の会」事務局

電話：03-3356-3564 (月・水・金のみ対応可)

FAX：03-3355-6427

mail：wabas@eagle.ocn.ne.jp